



# 平成22年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼総務部長

(氏名) 宮原 務

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 平成22年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年10月期第3四半期の連結業績(平成21年11月1日～平成22年7月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第3四半期	25,587	15.4	538	△4.8	576	△7.6	243	△17.2
21年10月期第3四半期	22,165	—	565	—	624	—	294	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年10月期第3四半期	20.29	20.22
21年10月期第3四半期	24.52	24.43

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年10月期第3四半期	24,688	7,209	29.0	596.25
21年10月期	23,711	7,151	29.9	591.35

(参考) 自己資本 22年10月期第3四半期 7,153百万円 21年10月期 7,094百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年10月期	—	—	—	15.00	15.00
22年10月期	—	—	—	—	—
22年10月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成22年10月期の連結業績予想(平成21年11月1日～平成22年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	18.4	774	11.7	821	12.0	411	18.3	34.26

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年10月期3Q 12,688,000株 21年10月期 12,688,000株

② 期末自己株式数 22年10月期3Q 690,765株 21年10月期 690,765株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年10月期3Q 11,997,235株 21年10月期3Q 11,997,235株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2.	その他の情報	4
	(1) 重要な子会社の異動の概要	4
	(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
	(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書	7
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
	(4) 継続企業の前提に関する注記	10
	(5) セグメント情報	10
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4.	補足情報	11
	商品別売上状況	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におきましては、海外経済の回復や景気対策の効果などを背景に、企業収益の改善が見られつつあるものの、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況が続いております。小売業界におきましても、消費者の低価格・節約志向が定着しつつあり、長期的なデフレ傾向が続いていることから、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社グループは、ライフスタイルを重視した品揃えの強化と提案性の高い売場づくりに注力するとともに、店舗における運営効率の改善および接客サービスの向上に取り組んでまいりました。また、お客様の期待を上回る品揃えとサービスの実現に向け、既存店2店（蔦屋書店西長岡店・320坪、蔦屋書店北長岡店・400坪）を統合閉店し、新たに当社最大規模となる1,000坪の超大型複合店舗「蔦屋書店長岡古正寺店（新潟県長岡市）」を移転出店いたしました。これにより、当社グループ合計店舗数は75店舗となりました。当社は「地域社会に密着したコミュニティ空間」の創造を目指しておりますが、今回移転出店した「蔦屋書店長岡古正寺店」ではさらなる店舗価値の向上を図るべく、地域住民や自治体が情報交換・発信の場として利用できるパブリックスペースの提供や、誰でも自由に情報検索ができる電子情報端末を並べたマルチメディアカウンターを設置するなど「エンターテインメント空間と時間」を提供する新しいスタイルの店舗となっており、売上も順調に推移しております。

当社グループは、これらの取り組みを通じて、お客様にとって発見と感動を味わうことができる魅力ある店づくりを行い、店舗競争力の強化に努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高25,587百万円（前年同期比115.4%）、経常利益576百万円（前年同期比92.4%）、四半期純利益243百万円（前年同期比82.8%）となりました。

### 売上・利益の増減要因

売上面につきましては、当社グループの主軸である蔦屋書店部門において、株式会社アンフォルマの完全子会社化（平成22年5月1日付で当社に吸収合併し消滅）に伴う店舗数増加（TSUTAYA11店舗）が増収の主な要因となりました。商品別では主力商品のうち、書籍が売上高前年同期比116.9%（既存店101.9%）、文具が売上高前年同期比124.3%（既存店118.8%）、レンタルが売上高前年同期比118.7%（既存店88.6%）、販売用DVDが売上高前年同期比107.6%（既存店88.4%）と売上を伸ばし、増収に寄与いたしました。なお、文具はライフスタイルを重視した品揃えの強化と売場拡大が奏功し、既存店においては13カ月連続で2桁の売上伸長となる好調が続いております。また、販売用CDは売上高前年同期比97.8%（既存店85.2%）となりました。

利益面につきましては、粗利率が高いレンタルの映像部門において対競合上、積極的な低価格戦略を採用していることから、売上総利益率が低下したことが減益の主な要因となりました。また、店舗の移転統合に伴い特別損失92百万円を計上した結果、四半期純利益は前年同期比17.2%減少し、243百万円となりました。

事業の部門別セグメントの状況は、次のとおりであります。

(小売事業)

蔦屋書店部門

当部門につきましては、既存店の売上高前年同期比が98.1%となりましたが、前述のとおり店舗数が増加したこと(TSUTAYA11店舗)が増収に寄与し、売上高は24,806百万円(前年同期比116.0%)となりました。

古本市場トップブックス部門

当部門につきましては、中古商品の買取強化および売場提案力の向上に取り組んでおります。また、当第3四半期より、エリアマネージャーを1名配属し店舗運営力の強化を図ってまいりましたが、売上高は655百万円(前年同期比97.4%)となりました。

(スポーツ関連事業)

グランセナフットボールクラブ部門

当部門につきましては、サッカークラブおよびサッカースクールの会員数が順調に伸びたことによる会費収入の増加および広告収入の増加が増収に寄与いたしました。また、短期スクールの企画開催に積極的に取り組んだことがイベント収入の増加に繋がり、売上高は125百万円(前年同期比113.7%)となりました。

**(2) 連結財政状態に関する定性的情報**

総資産につきましては、前連結会計年度末比976百万円増加し、24,688百万円となりました。これは主に、現金預金が941百万円、未収入金が175百万円およびリース資産が201百万円減少した一方、株式会社アンフォルマを完全子会社化(平成22年5月1日付で当社に吸収合併し消滅)したことや既存店の増床により、商品が783百万円、建物が425百万円、のれん277百万円、敷金及び保証金370百万円および長期前払費用が397百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比918百万円増加し、17,478百万円となりました。これは主に、長期借入金が返済により413百万円減少した一方、買掛金が513百万円、出店に伴い設備未払金が692百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比58百万円増加し、7,209百万円となりました。これは主に、利益剰余金が63百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ941百万円減少し、3,121百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、1,304百万円(前年同期比917百万円資金増)となりました。これは主に、減価償却費が758百万円計上されたことおよび仕入債務が247百万円増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動による資金の減少は、707百万円（前年同期比254百万円資金減）となりました。これは主に、平成21年11月2日付で株式会社アンフォルマの全株式を取得し完全子会社化したことに伴い、連結子会社株式の取得による支出が630百万円発生したことによるものであります。なお、株式会社アンフォルマは平成22年5月1日付で当社に吸収合併し、消滅しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動による資金の減少は、1,537百万円（前年同期比1,263百万円資金減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が730百万円あった一方、短期借入金の返済による支出が350百万円、長期借入金の返済による支出が1,220百万円、リース債務の返済による支出が518百万円発生したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績が概ね計画通りに推移していることから、平成21年12月11日に公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,131,012	4,072,065
売掛金	255,294	238,125
商品	7,045,814	6,262,371
貯蔵品	917	1,975
前払費用	270,025	225,190
繰延税金資産	39,226	72,030
未収入金	357,312	532,389
その他	63,599	45,723
貸倒引当金	△290	△349
流動資産合計	11,162,913	11,449,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,616,483	2,228,056
リース資産(純額)	3,458,357	3,659,427
その他(純額)	694,777	664,056
有形固定資産合計	6,769,618	6,551,540
無形固定資産		
のれん	310,469	32,759
その他	52,055	51,702
無形固定資産合計	362,525	84,462
投資その他の資産		
繰延税金資産	71,174	54,836
敷金及び保証金	4,349,933	3,979,684
その他	1,974,014	1,593,344
貸倒引当金	△1,420	△1,420
投資その他の資産合計	6,393,702	5,626,445
固定資産合計	13,525,845	12,262,447
資産合計	24,688,758	23,711,971

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,685,158	4,171,525
短期借入金	1,645,040	1,325,040
1年内返済予定の長期借入金	1,157,610	1,234,192
リース債務	564,230	649,045
未払法人税等	10,945	204,447
賞与引当金	37,500	63,000
未払金	618,872	438,305
その他	1,037,548	363,442
流動負債合計	9,756,904	8,448,997
固定負債		
長期借入金	4,044,175	4,457,834
リース債務	2,958,697	3,081,221
退職給付引当金	126,900	109,899
役員退職慰労引当金	72,476	72,476
長期未払金	350,693	221,786
長期預り敷金保証金	168,936	167,806
固定負債合計	7,721,878	8,111,023
負債合計	17,478,783	16,560,021
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,691	2,303,691
利益剰余金	3,158,642	3,095,132
自己株式	△309,060	△309,060
株主資本合計	7,160,644	7,097,133
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,351	△2,588
評価・換算差額等合計	△7,351	△2,588
新株予約権	37,703	35,318
少数株主持分	18,979	22,086
純資産合計	7,209,975	7,151,950
負債純資産合計	24,688,758	23,711,971



(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年7月31日)
売上高	22,165,473	25,587,120
売上原価	15,127,131	17,530,134
売上総利益	7,038,341	8,056,986
販売費及び一般管理費	6,472,473	7,518,236
営業利益	565,868	538,749
営業外収益		
受取利息	24,745	27,953
受取地代家賃	45,385	63,006
その他	46,961	56,608
営業外収益合計	117,092	147,567
営業外費用		
支払利息	58,571	109,318
営業外費用合計	58,571	109,318
経常利益	624,389	576,999
特別損失		
減損損失	1,668	—
固定資産除却損	9,834	37,789
賃貸借契約解約損	55,414	54,221
特別損失合計	66,917	92,010
税金等調整前四半期純利益	557,471	484,988
法人税、住民税及び事業税	256,309	175,627
法人税等調整額	5,682	68,998
法人税等合計	261,991	244,626
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,348	△3,107
四半期純利益	294,130	243,469

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)
売上高	6,823,931	7,684,481
売上原価	4,594,183	5,223,712
売上総利益	2,229,747	2,460,768
販売費及び一般管理費	2,102,144	2,465,300
営業利益又は営業損失(△)	127,603	△4,531
営業外収益		
受取利息	8,140	9,269
受取地代家賃	15,586	22,518
その他	8,161	19,197
営業外収益合計	31,889	50,985
営業外費用		
支払利息	19,099	37,119
営業外費用合計	19,099	37,119
経常利益	140,392	9,334
特別損失		
固定資産除却損	9,834	23,882
賃貸借契約解約損	55,414	54,221
特別損失合計	65,249	78,104
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	75,143	△68,770
法人税、住民税及び事業税	26,522	△58,696
法人税等調整額	13,936	40,996
法人税等合計	40,459	△17,700
少数株主損失(△)	△68	△2,150
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,752	△48,919

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	557,471	484,988
減価償却費	228,805	758,495
減損損失	1,668	—
のれん償却額	6,286	56,954
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△59
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,600	△47,950
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,511	△4,748
受取利息及び受取配当金	△25,271	△28,572
支払利息	58,571	109,318
固定資産除却損	9,834	37,789
賃貸借契約解約損	55,414	54,221
売上債権の増減額(△は増加)	△3,840	29,123
たな卸資産の増減額(△は増加)	114,763	△154,860
仕入債務の増減額(△は減少)	144,171	247,693
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,712	△92,486
長期前払費用の増減額(△は増加)	△542,792	181,316
その他	124,967	131,322
小計	689,230	1,762,546
利息及び配当金の受取額	837	1,534
利息の支払額	△55,906	△107,639
法人税等の支払額	△247,630	△352,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	386,531	1,304,234
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△255,411	△158,460
無形固定資産の取得による支出	△448	△500
投資有価証券の取得による支出	△479	△575
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△630,313
敷金及び保証金の回収による収入	228,769	270,087
敷金及び保証金の差入による支出	△383,000	△201,000
営業譲受による支出	△42,293	—
その他	—	13,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	△452,863	△707,680
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,325,040	△350,328
長期借入れによる収入	1,225,000	730,000
長期借入金の返済による支出	△2,646,305	△1,220,241
リース債務の返済による支出	—	△518,026
配当金の支払額	△178,255	△179,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274,520	△1,537,606
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△340,852	△941,052
現金及び現金同等物の期首残高	1,221,439	4,062,065
現金及び現金同等物の四半期末残高	880,586	3,121,012

**(4) 継続企業の前提に関する注記**

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日）

該当事項はありません。

**(5) セグメント情報**

**【事業の種類別セグメント情報】**

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「小売事業」の割合が、いずれも90%を超えるため、記載を省略しております。

**【所在地別セグメント情報】**

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日）

在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

**【海外売上高】**

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

**(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日）

該当事項はありません。

4. 補足情報

商品別売上状況

区 分		前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)		前年同期比 (%)	
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)		
小売事業	蔦屋書店部門	書籍	8,931,776	40.3	10,439,554	40.8	116.9
		レンタル	4,823,976	21.8	5,725,433	22.4	118.7
		文具	1,958,218	8.8	2,435,016	9.5	124.3
		販売用CD	2,481,758	11.2	2,427,237	9.4	97.8
		販売用DVD	1,424,766	6.4	1,533,259	6.0	107.6
		ゲーム	728,948	3.3	1,090,305	4.3	149.6
		リサイクル	152,972	0.7	145,295	0.6	95.0
		その他	880,234	4.0	1,010,195	3.9	114.8
	小計	21,382,651	96.5	24,806,298	96.9	116.0	
	古本市場トップブックス部門	672,157	3.0	655,007	2.6	97.4	
スポーツ 関連事業	グランセナフットボール クラブ部門	110,664	0.5	125,814	0.5	113.7	
合計		22,165,473	100.0	25,587,120	100.0	115.4	